

食べる

① 食物連鎖

生態ピラミッド

どんな生きものも、エネルギーや栄養分のやりとりでつながっています。そして、そのやりとりが「食べる、食べられる」ことによる場合を「食物連鎖」と呼びます。生き残るためのさまざまな工夫の結果、3万種を超える魚類の多様性が生まれました。

生きものの個体数はピラミッドの下から上に行くほど少なくなるので、食べつくされることは少なく、またその個体数がある程度変化しても、時間がたてば元のバランス(p.34)に戻る。ただし、乱獲や環境の変化などで大きくバランスが崩れる場合もある。

大型の魚

マグロ、サメ、カジキなど

中型の魚

カツオ、サケ、サワラ、マダラ、ブリ、ヒラマサ、スズキ、シイラなど

小型の魚

イワシ、アジ、サバ、タイ、サンマ、ニシン、トビウオなど

動物 プランクトン

植物 プランクトン

バクテリア

